

3 学年通信

共通テスト直前篇

松本深志高等学校
3 学年 50 号
2025. 1. 15

共通テストが近づいてきました。

注意事項などは、またあらためて出しますが、一昨日の朝日新聞に注意を促す記事が載っていましたので、裏面に紹介しておきます。記事の最後に記載されていますが、理科・地歴公民の第1解答科目・第2解答科目は決めてありますか。1科目のみ採用する、という大学には、「高得点科目を採用する」ところと「第1解答科目を採用する」ところがあります（それぞれの大学の要項に載っています）。得意科目を第1解答科目にするのが鉄則です。

「昨年までと違う」ということは各所で言われていて、みなさんも聞いていると思いますが、「昨年までと違」っても、基本的にみなさんにはあまり関係ない。みなさんは昨年までの共通テストを正式に受験してはいないからです。大変だ大変だ、といっているのは、これまでの蓄積の上に受験生指導をしている教員や受験産業の人たちです。各社のマーク型模試は、新しい形式に対応したものが作成され、みなさんはそれを受験してきていますから、それほど大騒ぎするようなことはありません。ただ、「与えられた注意事項をきちんと確認し、守る」というのは、いつでも同じです。気を付けましょう。

卒業生アンケートから (Part2)～直前篇～

*今回は、昨年度の卒業生だけではなく、他の学年のアンケート結果も混ぜてあります！

- ・自分は地理選択で今までずっと 50 点代しか取れていなかったけれど、特編の授業に毎時間集中して取り組み、先生の話をして全てテキストに書き込んだものを直前に見返しただけでも 75 点を取ることができた。暗記科目は最後まで伸びるので本番直前の休憩時間まで諦めないでほしい。
- ・現役生は最後まで伸びるといっては嘘だと思っていましたが、本当に直前まで伸び続けて模試でとったことないくらい良い点数を取れたので、最後の模試や K パックを気にしすぎないで最後の最後まで諦めないで勉強した方がいいと思います。
- ・学習の進め方は前期特編の問題を利用して集中的に弱点を潰していくことの繰り返し
- ・間違えたところ、間違えやすい問題を確認したり解き直したりする
- ・間違えたところをノートにまとめておいて、苦手なところを直前に確認できたのでよかった。
- ・前期特編でやったことの復習。分からなかった単語や問題はノートに蓄積。数学以外は赤シートで隠して解き直しできるようにした。リスニングは付属テキストについていたディクテーションをやった。直前は受験が終わったらやりたいことを妄想してやる気に変換した。試験前日・当日は“いつも通り”を意識して行動した。
- ・直前に参考書で見たところが出たので直前まで見ていた方がいいと思う
- ・ほんとに直前は英単語、古典単語、漢文句形、無機有機などの暗記系の最終確認をしていました。自分の間違えたことをメモするノートも作っていたのでそれを見ていました。
- ・社会科科目は前日まで粘った方がいいと思う。英語は毎日ちょっとでも触れていた方がいいと思う。
- ・社会、理科系の暗記物は、前日や直前まで知識を増やせるので、最後まで諦めずにやる！国語や英語はパターンに慣れながらも、問題形式が違うパターンで来ても動揺しないように考えておくといい。
- ・想定していない形で問題が出てきても焦らないように、傾向などに固執しすぎない。
- ・試行調査や予想問題の形式に慣れすぎていると本番で違う問題が出た時に対応が遅れてしまう
- ・1週間前から早起きをした
- ・テストとテストの間に何を確かめるのかしっかり予定を立てておく
- ・一通り解き終わった後にマークミスがないか確認する癖をつけるといいと思います。模試などでも自己採点と実際の点数が合わない人が多いですが、確認することでもったいないミスは確実に減ります。

予告

1月20日(月)自己採点・リサーチ入力 入力の手順などは、当日示します。

※共通テストで解いた冊子を必ず持ってくる。忘れたら家に取りに行ってもらいます。

※リサーチ用のID・パスワードを忘れないこと。

※ 8:40 集合 遅刻・欠席しない!

2025年1月13日 朝日新聞

大学入学共通テスト(25年実施)の主な変更点

情報

- ・教科として追加
- ・試験時間60分

地理歴史・公民

- ・科目再編で6科目に
「地理総合・地理探究」「歴史総合・日本史探究」
「歴史総合・世界史探究」「公共・倫理」
「公共・政治経済」「地理総合・歴史総合・公共」
(2科目受験の場合に、選べない組み合わせあり)

国語

- ・「近代以降の文章」の大問を一つ追加
- ・試験時間が80分→90分に

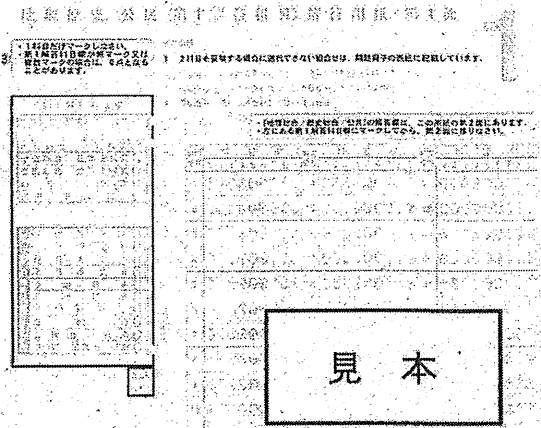
数学

- ・科目再編で
「数学Ⅱ・数学B」が「数学Ⅱ・数学B・数学C」に
- ・試験時間が60分→70分に

既卒者向け措置

「地歴・公民」「数学」「情報」は旧課程の問題も選べる

大学入学共通テストの解答用紙の見本
＝大学入試センター提供



裏面にも記入欄／受験科目のみマーク

共通テストの変更に伴い、受験生が解答欄を間違えないように、大学入試センターは情報提供に工夫をこらしている。その一つが動画配信。従来の教員向けに限らず、今回は受験生向けを意識して初めて作り、周知している。昨年12月中旬からYouTubeで公開したのは、次のような1分ほどの「ショート動画」だ。

「もつすく共通テストがあるね?」。電車内で英語の勉強をしている女子生徒に突然、「声」が響く。「地歴公民と理科を受けるね? 受験案内についてたリーフレット読んだ?」

生徒が「読んでない!」と漏らすと、「今回から地歴公民と理科の解答用紙には裏面がある!」と伝える。動画は計3本。鉛筆や消しゴム、時計の指定があるといった注意点も盛り込んでいる。普段からSNSや動画で効率よく情報収集することを重視している「タイパ志向」が強い世代を意識して企画したという。昨夏には、教員や親も視聴すること考えつつ、詳しい解説動画を配信。出願時の志願票の書き方から、試験当

大学入試センターがショート動画 予備校も注意喚起

日に配られる問題冊子の構成、解答用紙の記入の注意点まで、一部は実物を示しながら丁寧に説明している。

入試センターの担当者によると、受験当日は特に、解答用紙の誤記に注意が必要という。「地理歴史・公民」と「理科」などでは、解答科目欄で一つの科目だけマークすることや、新課程履修者は旧課程科目にマークしないことを呼びかける。受験生の目にとまり、少しでも効果的に周知ができればという思いで工夫してきたと話す。予備校も、本番の前に注意点をウェブサイトで伝えていく。

河合塾は受験時の注意点として、「受験科目にマークされていないか?」と、複数科目がマークされていたりすると0点になってしまう。「自己採点のために、自分の解答は問題冊子の各設問の選択肢に丸をつけるなどして試験中に転記を」と呼びかけている。また、地理歴史・公民や理科で2科目受験する人は、選択科目の解答順を事前に決めておくように勧めている。「第1解答科目」の成績を利用する大学が多い、などの理由からだ。